

平成 29 年度経営セミナー

受講のご案内



「…現場にて経営・技術の改善…」

基調テーマのもと経営、技術、改善について
全8講座の研修開催

主 催 長野県中小企業団体中央会
長野県中小企業労働問題協議会
後 援 長 野 県
公益財団法人 長野県テクノ財団
平成 29 年度 中小企業連携組織支援事業

基調テーマ：「技術の蓄積と挑戦が独自の未来を拓く」

●カリキュラム

開催月	テ ー マ	講 師	内 容	開催地	日時・会場
9月	創造と革新に熱意で挑戦 ～『非常識』への挑戦が 未来をつくる～	塚田理研工業(株) 代表取締役 下島 康保 様	約50年前にプラスチックへのめっき量産化技術を確認した同社。50年の技術の蓄積により、他社に無い多品種小ロット、また多彩な種類のめっき、多くの素材への高密着なめっきを可能としてきた。また、環境対応型めっき企業として、長年培ってきた排水処理の技術を活かした総合排水処理施設「排水リサイクルセンター」を完成させ、排水リサイクル設備にて最大35t/hに及ぶ工場排水をリサイクルし工場へ戻すことを実現した。さらに独自の技術にて廃液から選択的に銅、ニッケルのみを抽出し、有価物として再資源化する研究を進めており、産業廃棄物の削減による環境負荷低減と、再資源化によるコスト削減に努めている。業界内で「非常識」とされた技術・環境対応に挑戦し実現しつづけ、2016年「長野県経営品質賞 奨励賞」を受賞するなど、同社の取り組みについて研修する。	駒ヶ根市	9月12日(火) 午後1時30分～ 塚田理研工業(株)・本社 ※受講定員先着20名(各社1名)
10月	『0への挑戦』と オリジナリティの追求	(株)鈴木 取締役常務執行役員 高山 章 様	同社は、昭和8年、精密部品用プレス金型の製造を基幹事業として創業した。以来、「0への挑戦」と形容される徹底的な精度追求を理念とし、金型の高精度実現にひたすら邁進し、そうした技術を電子部品事業、自動化・省力化機器事業に展開し、ユーザーニーズに、より完璧に対応し、客先より高評価を得てきた。金型を通じて培った独自の部品量産、部品の付加価値を高める後加工ノウハウ。そして、それらの知識を全て集約した自動化・省力化機器開発に繋げてきた。こうした一連の流れは、自ずと部門相互の技術連携を生み出し、オールラウンドにトータルな技術をお客様に提供できる、同社の強みとなっています。また、「優良な製品は、優良な環境から」の考えのもと最適ナリフレッシュ環境の整備を実施されるなど、同社のこうした高精度技術の確立・技術の連携・製品開発の取り組み・環境整備について研修する。	須坂市	10月20日(金) 午後1時30分～ (株)鈴木・日滝原工場 ※受講定員先着20名(各社1名)
11月 ・ 12月	ものづくりをダイヤのように 輝く技術でサポート ～微細・精密加工技術への挑戦～	(株)ダイヤ精機製作所 代表取締役社長 小口 裕司 様	1951年の創業以来、精密切削加工技術を基軸とした、特に研究開発や試作、高度な生産設備等における少量で高い信頼性が要求される製品を得意としている同社。精密加工の中でも技術を極め、超微細の加工を得意とし、今まで蓄積された技術と経験を生かし、微細穴加工用の機械「ピサイヤ」を開発した。また、ものづくりの現場では「チャレンジ精神が旺盛で新しいものに挑戦するこだわり」も特徴であり、加工技術の蓄積や新技術など同社のさらなる技術の向上とお客さまからの一層の信頼を得ている。技術力だけでなく、管理の面では、早い段階で国際規格ISO9001を、2002年にはISO14001も認証取得し、お客さまに安心して頂ける、環境に配慮した製品を提供している。こうした管理体制のもと、自社製品としてお客さまの要望に対応したコレットチャック(ユニット)・スピンドルの設計から組立まで行っている。新たな技術の開拓と挑戦し続ける同社の取り組みについて研修する。	岡谷市	11月・12月頃 (株)ダイヤ精機製作所・本社
11月 ・ 12月	最先端技術で 次世代のFAを提案し、 FA界のトップを目指す	アスリートFA(株) 代表取締役社長 山脊 晃 様	同社は、日本の電子・精密・半導体産業の中核拠点の1つである長野県諏訪地域において、1965年より積み重ねてきた精密加工と半導体実装の技術をバックボーンに、またFAエンジニアリングを推進する専門企業として平成元年に設立した。半導体産業をはじめとする産業ユーザーの期待に応えるべく、先進のエンジニアリングを提供している。生産設備機器の専門集団として、その技術とシステムを広範なフィールドへ提供し、生産工程のシステム化、FA化に貢献している。生産システムのコンサルティングから、開発設計、製造、メンテナンスに至る一貫体制のもと、世界の産業ユーザーの皆様に、信頼のFAエンジニアリングを提供している。生産設備に求められている卓越した先進性と信頼性の両立について、お客さまに適切な提案・提供をすることで多くの信頼を得てきた。日進月歩で進化していく業界で最先端の開発に挑む同社の取り組みについて研修する。	諏訪市	11月・12月頃 アスリートFA(株)・本社
12月 ・ 1月	強みを活かした 高付加価値の実現	長野オリンパス(株) 代表取締役 田中 健寛 様	同社は、その前身である「オリンパスオプトテクノロジー株式会社」が担う映像関連製品の製造機能、および「株式会社岡谷オリンパス」が担う産業関連製品の製造機能を統合し2011年10月1日に誕生しました。2012年4月1日には、「オリンパス株式会社伊那工場」にあるライフ関連製品(顕微鏡)の製造機能を統合、2015年4月1日より、「株式会社オリンパスエンジニアリング」のライフサイエンス分野・工業分野機器の設計・製造機能を、2016年4月1日よりオリンパス株式会社SORC長野の医療用内視鏡修理機能を統合し、複合的な製造会社として事業運営を行っている。2016年7月には(一社)日本能率協会の実施する、高いレベルの工場運営を行う会社として「GOOD FACTORY賞」を受賞。そこに至るまでの工場での管理体制構築や技術者の育成などの同社の取り組みについて研修する。	辰野町	12月・1月頃 長野オリンパス(株)・本社
11月 12月 1月	時計製造業における、 ものづくり技術の深化への挑戦	セイコーエプソン(株) 塩尻事業所 ウェアラブル機器事業部 ご担当者 様	同社は、1942年の創業以来、その独自技術によって世の中にない価値を創造し続けてきた。世界初の小型軽量デジタルプリンター、世界初のクォーツウォッチ、そして同社の今を築いた世界初の写真画質インクジェットプリンター。いずれも、商品を作り出す技術がはじめから存在したわけではなかった。世の中にこういう価値をもたらしたい、人々のためにこういう商品を作りたいという技術者の夢や志があり、それを実現するために、“エネルギーを省く”、“モノを小さくする”、“精度を追求する”といった「省・小・精の技術」を徹底的に極めてきた。ウェアラブル機器事業も「省・小・精」の同社の強みを活かし、常に新たな高付加価値製品を生み出している。こうした強みを深化させた同社の取り組みについて研修する。	塩尻市	11月・12月・1月頃 セイコーエプソン(株) 塩尻事業所 ウェアラブル機器事業部
2月 下旬	水に関わる製品を通じて 21世紀の課題に挑戦	(株)荻原製作所 代表取締役社長 高奥 在人 様	創業から65年以上の実績を基に水に関わる製品作りをし、現在、小型温水循環ポンプ、超純水装置等の水処理装置の開発・製造・販売を軸に金型製造や省力化設備の設計から施工まで、グループ全体で取り組んでいる。同社は本年、伊那市に土地と建物を取得し、本社機能及び工場機能を移転集約する予定である。企業を取り巻く厳しい環境において、今後の事業拡大に向けた経営環境を整え、全世界的な課題である省資源・省エネルギー、資源の再利用、新エネルギーの開発等、実用化が積極的に進められている中、当社では、地球温暖化防止に有効な家庭用燃料電池コージェネレーション(熱・電気供給)システム用ポンプ、センサ類等の開発などに関する取り組みについて研修する。	伊那市	2月下旬 (株)荻原製作所・本社
3月 月上旬	基調講演会	調整中	IoTやAI、ロボットなどが今後の製造業の生産現場にどのように関連してくるかなどを研修する予定。	諏訪市	3月上旬 諏訪市内ホテル(予定)

※ 上記研修先様には内諾を頂いておりますがご事情により開催日・研修先様に変更となる場合もございますので、予めご了承下さい。

※ 上記研修先様のご事情により受講者数に定員制を設けさせて頂く場合もございます。その際は各回申し込みの先着順となりますので、予めご了承下さい。

※ 上記研修先様のご事情により講座によっては競合他社等となりえる受講希望者様の参加をお断りさせて頂く場合もございます。

開催要項

開催にあたって

政府の経済見通しによれば、今年度は、「未来への投資を実現する経済対策」など各種政策の推進等により、雇用・所得環境が引き続き改善し、経済の好循環が進展する中で、民需を中心とした景気回復が見込まれ、実質GDP成長率1.5%程度、名目GDP成長率2.5%程度が見込まれています。その一方で、人手不足の深刻化に加えて、人口減少・超高齢化社会という構造的な需要減少要因もあり、さらに働き方改革・最低賃金の引上げ等に伴う人件費アップなどコスト増が避けられず、海外で広がる保護主義的な動きへの警戒感もあって、依然先行きが見通せない状況にあります。

このような中でもあらゆる可能性に挑み、新たな事業展開を考え、邁進していくことこそが中小企業が生き残る道であります。本セミナーにご協力頂ける企業様は、過去・現在と挑戦を続け、独自の経営、独自の技術を発揮したモノづくりを行い、顧客ニーズに対応した製品やサービスを提供していることが特徴といえます。

今年度は、変化の激しい製造業において様々な挑戦を中心テーマとした全8回の講座を開催し、参加される皆様の生産技術の向上と経営資源の強化に役立てることを目的としております。

開催方法

表示しました全8講座に年間会員登録をいただき、各講座の詳細を逐次ご案内します。講座毎のお申し込みはできませんのでご了承ください。

各講座の出欠はご随意です。

申し込み・問い合わせ先

◎長野県中小企業団体中央会 <http://www.alps.or.jp>

- | | | |
|--------|------------------|------------------|
| ・連携支援部 | TEL(026)228-1171 | FAX(026)228-1184 |
| ・東信事務所 | TEL(0268)24-1788 | FAX(0268)25-3258 |
| ・中信事務所 | TEL(0263)32-0477 | FAX(0263)32-7299 |
| ・南信事務所 | TEL(0266)78-4030 | FAX(0266)58-6670 |
| 飯田分室 | TEL(0265)24-7088 | FAX(0265)24-5734 |

申し込み締め切り

平成29年8月28日(月)